

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成21年1月15日 (2009.1.15)

【公開番号】特開2007-147924(P2007-147924A)
 【公開日】平成19年6月14日 (2007.6.14)
 【年通号数】公開・登録公報2007-022
 【出願番号】特願2005-341151(P2005-341151)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/08 5 0 7 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月20日 (2008.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面に静電潜像が形成される像担持体と、所定の現像バイアスが印加され表面に現像剤の薄層を形成して前記像担持体と接触させることにより、前記静電潜像を現像する現像剤担持体と、前記現像剤担持体に直流の現像バイアスを印加させる電源と、前記現像剤担持体に前記現像剤を供給する現像剤供給手段と、前記現像剤供給手段に直流バイアスに交流バイアスを重畳させたバイアスを印加させる電源とを有し、前記現像剤供給手段は、周面に複数の導電性の繊維からなるブラシから形成されたブラシローラであって、前記ブラシの毛足を 3 ～ 6 mm、繊維密度 1 0 0 0 0 ～ 2 5 0 0 0 本 / i n c h ² とし、且つ前記現像剤供給手段に印加されるバイアスは、現像剤供給手段のバイアスと現像剤担持体のバイアスとの差（電位差）が絶対値で 0 ～ 4 0 0 V の範囲となるように設定した直流バイアスに、周波数を 3 0 0 ～ 2 0 0 0 H z 且つ印加電圧を 1 0 0 ～ 3 0 0 V の範囲となるように設定した交流バイアスを重畳させたことを特徴とする現像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

上記課題を解決するため、本発明は、表面に静電潜像が形成される像担持体と、所定の現像バイアスが印加され表面に現像剤の薄層を形成して像担持体と接触させることにより、静電潜像を現像する現像剤担持体と、現像剤担持体に直流の現像バイアスを印加させる電源と、現像剤担持体に現像剤を供給する現像剤供給手段と、現像剤供給手段に直流バイアスに交流バイアスを重畳させたバイアスを印加させる電源とを有し、現像剤供給手段は、周面に複数の導電性の繊維からなるブラシから形成されたブラシローラであって、ブラシの毛足を 3 ～ 6 mm、繊維密度 1 0 0 0 0 ～ 2 5 0 0 0 本 / i n c h ² とし、且つ現像剤供給手段に印加されるバイアスは、現像剤供給手段のバイアスと現像剤担持体のバイアスとの差（電位差）が絶対値で 0 ～ 4 0 0 V の範囲となるように設定した直流バイアスに、周波数を 3 0 0 ～ 2 0 0 0 H z 且つ印加電圧を 1 0 0 ～ 3 0 0 V の範囲となるように設定した交流バイアスを重畳させたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】